

ルカ 18:1-14  
「いつでも祈るべき」

テーマ いつでも祈るべきで、失望してはいけない。

すなわち、神がすべてを支配しておられるということを、私たちは、はっきりと知らなければならぬ。だから、その神にいつも祈り、その神とともに歩むことが何よりも大切。

1つ目のたとえ話

v1 <いつでも祈るべきで、失望してはいけないことを教えるために>

登場人物 裁判官

v2 <神を恐れず、人を人と思わない裁判官>

話がうまく進みそうな、好ましい状況でなくても、全然かまわない。

もう一人の登場人物。やもめ

v3 <やもめ>

・経済的、社会的に後ろ盾がない、立場の弱い人の代表。

v5 <うるさくて仕方がないから・・・裁判をしてやることにしよう。>

※人に、同じことを何度も言うのはどうか？

→ 箴言 17:9 <同じことを蒸し返す者は親しい友を離れさせる。>

※神さまに対してはどうか？

→ マタイ 6:7 <また、祈る時、異邦人のように、同じことばをただ繰り返してはいけません。彼らは、ことば数が多いことで聞かれると思っているのです。>

<異邦人> ここでは、まことの神を知らない人たち。

なぜ、同じ祈りのことばをただ繰り返すことがいけないのか？

→ マタイ 6:8 <ですから、彼らと同じようにしてはいけません。あなたがたの父は、あなたがたが求める前から、あなたがたに必要なものを知っておられるのです。>

イエス様の結論

v7 <まして神は、昼も夜も神に叫び求めている、選ばれた者たちのためにさばきを行わないで、いつでも放っておかれることがあるでしょうか。>

・私たちが「昼も夜も叫び続けている」から、よりも、神がそれを放っておかれることがない方だから、私たちの祈りを聞いてくださる。

v8 <神は彼らのため、速やかにさばきを行ってくださいます。>

<速やかに> される時は速い。(たとえ遅いようでも)、遅れることがない。

なぜ、神は叫び続けさせられるのか。

→ マタイ 6:31-33 <ですから、何を食べようか、何を飲もうか、何を着ようかと言って、心配しないでよいのです。v32 これらのものはすべて、異邦人が切に求めているものです。あなたがたにこれらのものすべてが必要であることは、あなたがたの天の父が知っておられます。v33 まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべて、それに加えて与えられます。>

→ ルカ 11:9 <ですから、あなたがたに言います。求めなさい。そうすれば与えられます。探しなさい。そうすれば見出します。たたきなさい。そうすれば、開かれます。>

今週の聖句 ルカ 11:13 <ですから、あなたがたは悪い者であっても、自分の子どもたちには良いものを与えることを知っています。それならなおのこと、天の父はご自分に求める者たちに聖霊を与えてくださいます。>

・ここでは、聖霊が豊かに与えられる。聖霊に満たされる。という意味。

<だが、人の子が来るとき、はたして地上に信仰が見られるでしょうか。>

熱心に祈り続け、神を求め続けるようにと、神を親しく知っていくようにと、主が励ましておられる。

## 2つ目のたとえ話

### パリサイ人

v9 <自分は正しいと確信していて、ほかの人々を見下している人たち>

v11-12

・「私は正しい。」 自分の正しさにより頼むことはできない。

・「他の人をより自分は上だ、だから、祈りを聞いてもらえるはずだ。」 こんな祈りは、聞かれない。

### 取税人

v13 <神様、罪人の私をあわれんでください。>

v14 <義と認められて家に帰った>

→ ローマ 3:22 <すなわち、イエス・キリストを信じることによって、信じるすべての人に与えられる神の義です。そこに差別はありません。>

今週の聖句 ルカ 11:13 <ですから、あなたがたは悪い者であっても、自分の子どもたちには良いものを与えることを知っています。それならなおのこと、天の父はご自分に求める者たちに聖霊を与えてくださいます。>

聖霊が私たちのうちに神ご自身を豊かに表わしてくださるので、私たちは神とともに歩める。